

ここまできた 合併症管理と生存率

春日 弘毅

偕行会セントラルクリニック院長

医療法人偕行会名古屋共立病院
副院長・腎臓内科部長

偕行会透析事業本部 副本部長
愛知透析医療事業部 事業部長

偕行会愛知の「合併症管理統括責任者」は春日弘毅先生。いつも患者様のための「すこやかで幸せな透析ライフ」を念頭に置いておられる春日先生は、この春、偕行会セントラルクリニックの院長に就任され、ますます忙しくなられました。春日先生に偕行会の透析医療、特に合併症対策についてうかがいました。

(聞き手・五十嵐ベティ)

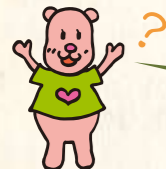


5年生存率がさらに改善していますね

もともと偕行会は、以前から全国平均と比べると成績が良いのです。

透析患者様の平均年齢は60歳代で高齢者が増え、全体の6割が糖尿病です。糖尿病を持っ

ていると合併症が起こりやすいので、5年生存率が低くなるという全国的な傾向があります。その中でも偕行会の成績がとびぬけて良いのは、合併症の徹底した管理のたまものと言えるでしょう。



合併症管理の成果と考えているのですか

偕行会は、以前より他のクリニックに先駆け、合併症予防や早期発見を積極的に行っていました。

死因の第1位は心臓病です。透析患者様は血管の石灰化が起こりやすく心臓の冠動脈が詰りやすいため、狭心症や心筋梗塞になるリスクが高いのです。患者様自身の自覚症状がなくても、共立病院の循環器内科と連携をとり、「心臓エコー」や「24時間ホルター心電図」などの検査を受けてもらうことで、異常

をいち早く発見できます。症状が軽いうちに治療がすすめられるわけですから、患者様への身体の負担も少なく、5年生存率がさらに上がり長生きできます。

それ以外にも、ASO(下肢の動脈硬化による病気)、消化管疾患(消化管出血など)、脊椎・関節疾患(手や足のしびれや痛み、歩行困難などを起こす)、シャントのトラブルなど透析患者様の生命や生活の質に関わる疾患の治療にも名古屋共立病院の各診療科と連携して良好な

治療成績を挙げています。また、ウイルス肝炎については新たに着任された肝臓専門の先生の見解に基づいて、よりよい検査や治療に取り組んでいます。いずれも透析クリニックで早期発見を心がけ、治療は名古屋共立病院の専門の先生に相談するという確立された方法がよい結果につながっています。また、このような実績もあり、他の医療機関からも多くの患者様が名古屋共立病院へご紹介いただき、治療を受けられています。



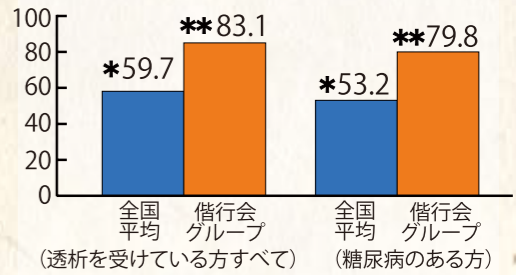
全自動透析装置
(名港共立クリニック)
いろいろな顔に注目

全自動透析装置
(名港共立クリニック)

コンピュータにより画像加工もできる、最新型の「64列マルチスライスCT」(静岡共立クリニック)

透析を受けている方の5年間の生存率

*:日本透析医学会2007
**:Kaplan-Meier法による



5年生存率を高めている心臓の手術について教えてください

冠動脈が詰まった時の心臓血管内手術には、カテーテル手術とバイパスをつくる心臓血管外科手術があります。偕行会のデータでは、カテーテル手術をやられた患者様の5年生存率は90%以上でとても高く、一方、何らかの理由でカテーテル手

術ができなくて飲み薬だけの治療を行った患者様の5年生存率は65%という結果がでています。

カテーテル手術が困難な場合は心臓血管外科でのバイパス手術となります。できるだけ患者様に負担のかからない手

術法が選択されており、手術成績も全国的にみても非常によい結果を収めています。そうは言ってもバイパス手術に比べれば、カテーテル手術のほうが圧倒的に負担は軽いため、合併症予防や早期発見の大切さが理解していただけたと思います。

最新の医療機器にはどんなものがありますか?

ひとつ目は64列CTです。この最新機器は「名古屋共立病院」と「静岡共立クリニック」に導入されました。瞬時に世界最薄の0.5mmの間隔で64断面(スライス)の撮影ができ、立体画像として解析もできますから、ASOの診断や心臓の血管の動脈硬化の評価など従来のCTで

は不可能だった病変の評価が可能になります。

ふたつ目は「全自動コンソール」です。「ウルトラピュア」というとてもきれいな水を大量に使ってダイアライザーを洗浄してから、全自動で血液を患者様の身体に返す装置です。安全性の向上と合理化による「ゆとり

の時間」が増えました。すでに「名港共立クリニック」では稼働しており、今回新しくオープンした「リハビリ病院透析室」にも導入しました。このシステムを取り入れているのは東海地方では偕行会だけです。



患者様へのアドバイスがありましたら、お願いします

私たちは、医療を提供する立場でいろいろ考えてやっております。5年生存率の治療成績では全国平均をはるかに上回っていますが、患者様ご自身やご家族の理解と協力なし

ではどんな治療もうまくいきません。透析患者様は生活する上でもいろいろな制限がありますが、その中でどういうふうに向き合っていくかをお考えいただきたいと思います。毎

日の食事管理やASOのためのフットケアなど、日常のきめ細かい積み重ねが生活の質に大きく関わってきますので、患者様やご家族の皆様、よろしくお願いたします。

早期発見が
大事ナ!

